

# 介護事業部TQM活動 不適切ケアの撲滅に向けて

介護事業部TQM委員会  
経営管理部 銅子大介

## 【介護事業部TQM活動の取り組み】

# 『不適切ケアに関する セルフチェックシートの活用』

### 【目的】

不適切ケアを放置すると、虐待に発展する可能性があるため、日常のケアを振り返り、「虐待の芽」を摘むことが重要である。

当法人から**不適切ケアを撲滅**させることで、虐待防止、延いては**ケアの質向上**につなげたい。

# 【不適切ケアとは】

「不適切ケア」とは、**明確な虐待には該当しないものの、利用者の尊厳や安全を損なう可能性があるケアを指し、不適切ケアは虐待の前段階(前兆)とも言われている。**

虐待の5種類	不適切ケアの主な事例
<ul style="list-style-type: none"><li>● 身体的虐待</li><li>● 心理的虐待</li><li>● 性的虐待</li><li>● 経済的虐待</li><li>● ネグレクト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 言葉による抑制(スピーチロック)</li><li>● 馴れ馴れしい言葉遣い</li><li>● 無言での身体介助</li><li>● 排せつ介助の軽視</li><li>● プライバシーの侵害</li><li>など</li></ul>

## 【背景】



アンケート調査



監査部による聞き取り調査



事業所からの報告

様々な調査から**不適切ケアが実際に行われていることは**  
**明らかになっていたが、具体的な改善アクションに繋がっていない**

## 【セルフチェックに求める効果】

### ①現場職員の「気づき」を促す

→日々のケアの中で「当たり前になっている行動を見直すきっかけになる

### ②「忙しさ」の中で見落とされがちなケアの質を可視化できる

→「忙しいから仕方ない」で流されていた場面を具体的に振り返る

### ③あいまいになっていた「不適切ケア」の認識を合わすことができる

→何が「不適切」なのかの認識のすり合わせができる

### ④改善アクションを現場レベルで考えることができる

→各サービス、各事業所での傾向をつかむことで、具体的な改善アクションに繋げることができる

# 【セルフチェックシート】

回答期間:2週間程度

チェック項目:  
具体的な事案で割合の  
高いものに絞る

対象事業所:  
訪問系、通所系、  
入所系の全事業所

介護事業部 不適切ケアセルフチェックシート2025  
目的: 洛和会の介護の現場での不適切なケアをなくす  
不適切ケアとは、利用者に正しくないケアを行うことです。  
下記の項目をセルフチェック(自己評価)することで日常のすべての行動を振り返る機会としてください。

活用方法: セルフチェック 8月(前3ヶ月) → 行動改善 → セルフチェック 11月 → 行動改善 → セルフチェック 2月

配布と回収: 各職場の所属長が実施月に配布し、2週間程度で回収  
対象: 常勤・非常勤すべての職員(訪問看護師、訪問リハは除く)  
チェックの仕方 ①セルフチェックをする期間の間でa.b.cから一つ選ぶ  
②セルフチェックをする項目を実施しなかった場合は空白とする

不適切ケアセルフチェック項目		a したことはない	b したことがある	c したことはないが、しそうな気持になる
安全確保	1 自分の都合で、「やめて」「動かないで」「待って」「やってて」「座って」「早くして」と言う			
	2 自分の都合で、歩ける人を無理やり車椅子に乗せる			
コミュニケーション態度 言葉使い	3 子ども扱い、ため口の言葉を使う			
	4 命令口調で介助を行う			
	5 無言で介助を行う			
	6 利用者の呼びかけに応じない、意思を無視する			
	7 そんなこともできないの!と言う			
	8 ●●しないとおやつでませんよなどと脅かす			
	9 トイレ行くって言ったのに!なんで出ないの!と責める			
	10 トイレに行きた以為にトイレ誘導を行わない			
排泄介助	11 トイレに行けるのにオムツやリハビリパンツへの排尿を指示する			
	12 パット、オムツ、リハビリパンツを不必要に重ねて着用させている			
	13 定められた時間にオムツ交換、トイレ誘導、陰部洗浄を行わない			
	14 自分の都合で、入浴時間を短縮したり入浴させてない			
入浴介助	15 脱衣室で長時間肌を露出させている			
	16 自分の都合で、ごはんとおかずを混ぜている			
食事介助	17 自分の都合で、食事を切り上げたり急がす			
	18 自分の都合で、食後薬を食前・食中に服用させている			
	19 自分の都合で、食事に混ぜて服用させている			
服薬介助	20 医師の許可なく、錠剤を粉碎し服用させている			
	21 洗顔、整髪、口腔ケア、髭剃りが行われていない			
整容・更衣	22 食べこぼしや汚物の汚れをそのままにしている			
	合計			

3か月毎の定期実施

対象者:常勤・非常勤  
全ての看介護職員

回答方法:3択  
過去3か月以内に  
「したことはない」  
「したことがある」  
「しそうになる」

集計:各事業所毎に  
管理者が実施

第1回 不適切ケアセルフチェック項目		a したことではない	b したことがある	c したことないが、しそうな気持になる
安全確保	1 自分の都合で、「やめて」「動かないで」「待って」「やってて」「座ってて」「早くして」と言う	354	① 725	290
	2 自分の都合で、歩ける人を無理やり車椅子に乗せる	1137	75	151
接遇	3 子ども扱い、ため口の言葉を使う	696	② 531	137
	4 命令口調で介助を行う	1075	130	161
	5 無言で介助を行う	984	③ 219	167
	6 利用者の呼びかけに応じない、意思を無視する	987	119	255
	7 そんなこともできないの!と言う	1274	16	76
	8 ●●しないとおやつでませんよなどと脅かす	1221	69	80
	9 トイレ行くって言ったのに!なんで出ないの!と責める	1187	33	120
	10 トイレに行きたいのにトイレ誘導を行わない	1111	94	132
排泄介助	11 トイレに行けるのにオムツやリハビリパンツへの排尿を指示する	1178	61	89
	12 パット、オムツ、リハビリパンツを必要に重ねて着用させている	1202	82	59
	13 定められた時間にオムツ交換、トイレ誘導、陰部洗浄を行わない	1223	54	53
	14 自分の都合で、入浴時間を短縮したり入浴させてない	1154	54	83
	15 脱衣室で長時間肌を露出させている	1192	56	40
食事介助	16 自分の都合で、ごはんとおかずを混ぜている	1036	196	94
	17 自分の都合で、食事を切り上げたり急がす	1047	74	199
服薬介助	18 自分の都合で、食後薬を食前・食中に服用させている	1103	120	63
	19 自分の都合で、食事に混ぜて服用させている	1131	120	45
	20 医師の許可なく、錠剤を粉砕し服用させている	1179	71	42
整容・更衣	21 洗顔、整髪、口腔ケア、髭剃りが行われていない	1063	178	68
	22 食べこぼしや汚物の汚れをそのままにしている	1063	172	93
合 計		23597	3249	2497

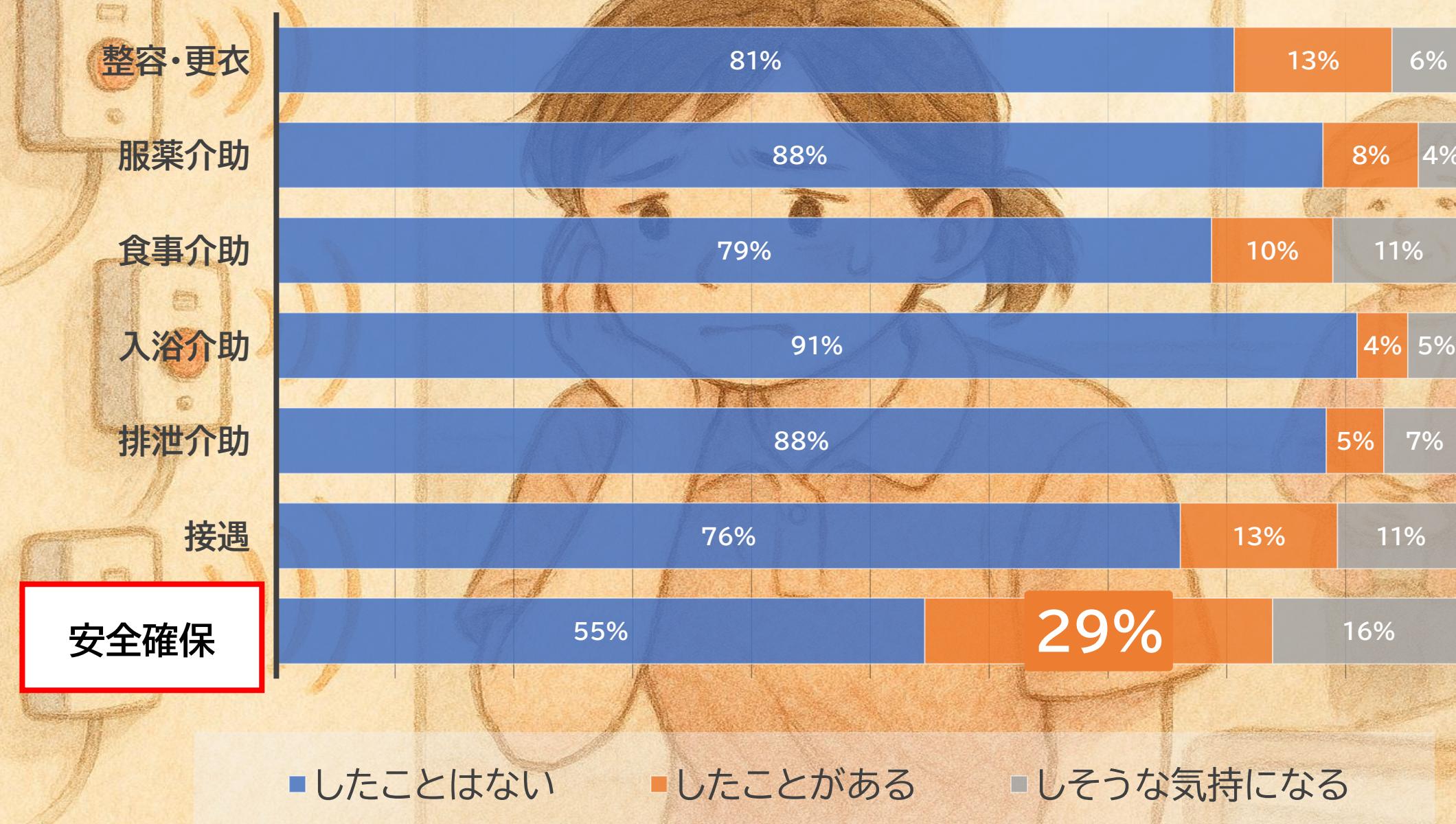
実施期間:  
8月1日~14日

72事業所  
回答人数

1,370人



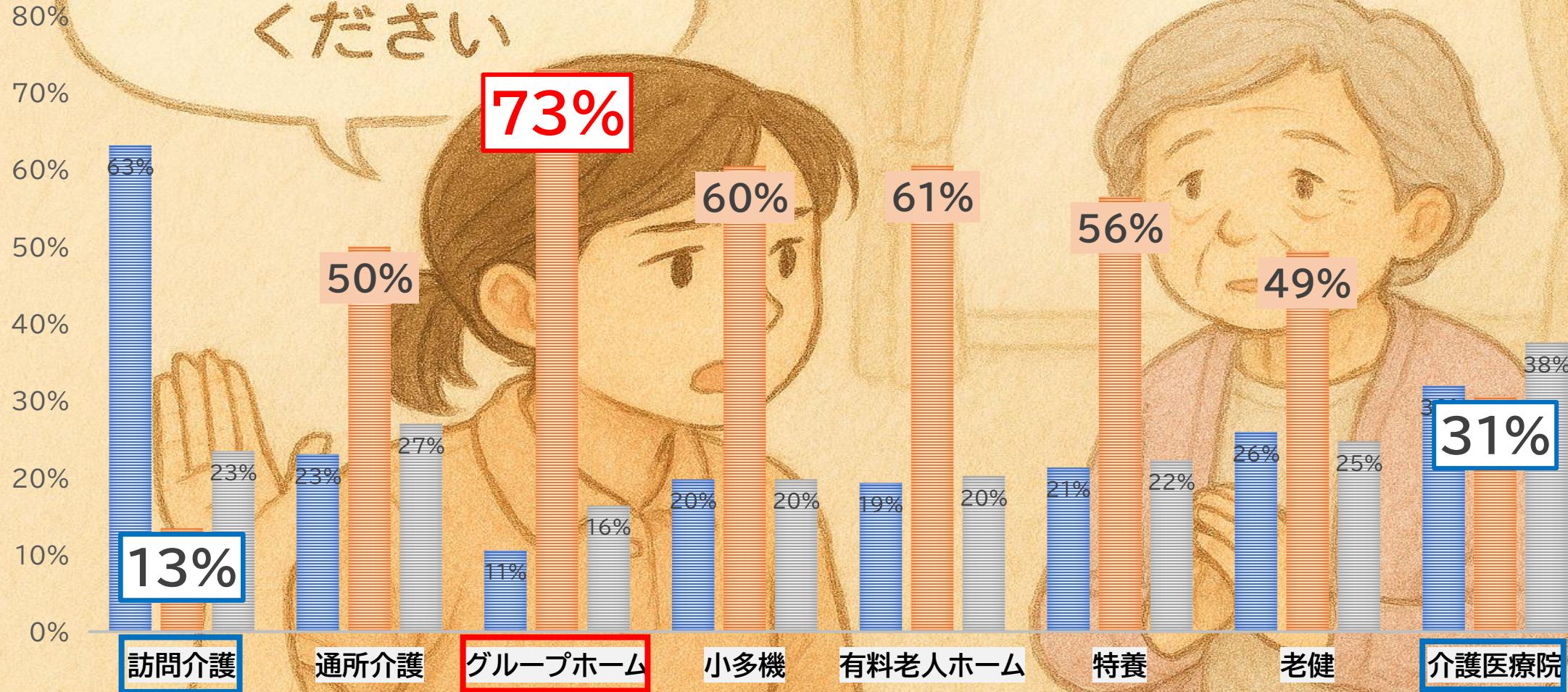
# 【全体】分類別割合



# スピーチロック

ちょっと待って  
ください

- したことない
- したことがある
- しそうな気持になる



こちらの都合で「やめて・動かないで・  
待ってて・座ってて・早くして」などと言う

## 【第1回目の調査で見えたこと】

- ①改善の出発点(ベースライン)が明確になった  
→2回目以降の調査と比較することで、変化や成果が見えてくる
  
- ②職員の意識の傾向が明確になった  
→サービスによる差異あり
  
- ③個々の実情の正直な回答が得られた  
→責めるのではなく、要因解明に繋げる



# 【考察と期待する効果】

不適切ケア防止に対する意識向上



不適切ケアについて職員間での  
抑止につながる



事業所毎やサービス毎の特徴が  
つかめる。



確実な回収とタイムリーに改善策  
が考えられる。



ご清聴  
ありがとうございました。

継続は力なり



いのちを見つめ、人間を支える。

